

山形国際
ドキュメンタリー映画祭 2017
小川紳介賞受賞

第53回 台湾金馬奨
最優秀ドキュメンタリー賞

2016 南方影展
ドキュメンタリー賞
第7回 サラヤ国際
ドキュメンタリー映画祭

2016 フラヴァ国際
ドキュメンタリー映画祭
2017 シンガポール
華語映画祭

2016 香港
インディペンデント
映画祭
香港インディペンデント
映画祭：在地而立

2016 台湾国際
ドキュメンタリー映画祭
第1回 日本・香港
インディペンデント
映画祭

第9回 華語
ドキュメンタリー映画祭
第31回
福岡アジア映画祭

第35回 ベンクーバー
国際映画祭
ゲートウェイセクション
2017 台湾国際
ドキュメンタリー映画祭
アッパー

未来は一瞬じゃ変えられない
でもこの時間がいつか未来をつくる



2014年香港の若者たちが未来の為に
立ち上がった「雨傘運動」79日間の記録

日時 2018年12月11日(火)
19:00~21:10 (18:30開場)
会場 大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F
参加費 一般=500円
学生、大竹財団会員=無料
定員30名【要予約】
主催 一般財団法人大竹財団

亂世備忘

僕らの雨傘運動

監督 陳梓桓 エグゼクティブプロデューサー 崔允信 プロデューサー 任硯聰 陳梓桓 コプロデューサー 張熾樑

編集 胡靜 陳梓桓 音楽 何子洋 制作 影意志 原題 亂世備忘 配給 太秦 監修 倉田徹

©2016 Ying E Chi All Rights Reserved. 2016 | 香港 | カラー | DCP | 5.1ch | 128分 公式サイト: www.amagasa2018.com

Director CHAN Tse Woon Presents Ying E Chi Executive Producer Vincent CHUI Producers CHAN Tse Woon, Peter YAM Co-producer CHERUNG TIT Leung Editor Jean HU, CHAN Tse Woon Sound Designer Jacklam HO Music & Sound Mixing Jacklam HO DI Colorist Eddie WONG Second Camera LAU Kok Rui, Sam TSANG, CHOW Nim Wa Editing Assistant LEE Wai Shing Footage Providers Sam TSANG, Eric TSANG, WAN King Fai, LAU Kok Rui, Jim LAM, Examine Motion Graphic Gesto YUEN Topographer & Poster Designer Gesto YUEN Copywriter LO Tse King Asset Photo CHAN Chi King Home Video CHAN Tse Woon's Father

Web予約
PC・モバイル共通



<http://bit.ly/2EoNLKO>

*It's just
the beginning*

ドキュメンタリー映画

STORY

僕が生まれる前、1984年に香港が1997年に中国に返還される事が決まった。

2014年、香港にはいまだに民主主義はない。自分たちで香港の代表を選ぶ「真の普通選挙」を求めて若者が街を占拠した、雨傘運動。同じ「香港人」であるはずの警官たちからの浴びせられる催涙弾に皆が雨傘を手に抵抗し、僕はカメラを手にデモに向かった。そこで映画の主人公となる仲間たち、大学生のレイチェル、ラッキー、仕事が終わってからデモに駆けつけてくる建築業のユウ、授業のあと1人でデモに来た中学生のレイチェルたちに出会った。

香港の街が占拠され、路上にはテント村ができ、自習室ではラッキーの英語無料教室が開かれた。テントをたて、水を運び、そして夜は一緒にマットを敷いて路上に寝る日々。討議がまとまらず言い争いになると「これが民主主義」だと、皆で笑いあう。こんな香港を見るのははじめてだった。香港に暮らす「普通」の僕たちが、「香港人」として「香港の未来」を探した79日間の記録——。当時27歳だった陳梓桓監督が仲間たちと過ごした、未来のための備忘録。



「僕たちは何かを変えたか——」



彼らの最前線は宙に舞い飛び散ったのか？
それは夢であったのか？
香港の街は静かな夜に涙するだけなのか？
否！道は続くのだ！
と僕は思った。

美術家・奈良美智

2014年は香港・雨傘運動のほか、台湾・ひまわり運動では学生たちが立法院を占拠し、日本ではSEALDsの前身となる学生団体SASPLが結成された。明確な結果が見えず運動が終わった時、彼らは自分たちがどう闘い続けていくかという問題に直面する。若者たちの軌跡を紐解く事で、私たちアジアの未来が見えてくる。未来を変えるには時間がかかる。2014年はすべてのはじまりであった。

香港の新世代による、香港、そしてアジアの未来を見つめる
社会派青春群像劇ドキュメンタリー。

乱世備忘

僕らの雨傘運動

監督 陳梓桓 エグゼクティブプロデューサー 崔允信
プロデューサー 任硯聰 陳梓桓 コプロデューサー 張鐵樑
編集 胡靜 陳梓桓 音楽 何子洋 制作 影意志
原稿 乱世備忘 配給 太秦 監修 倉田徹
©2016 Ying E Chi All Rights Reserved.
2016 | 香港 | カラー | DCP | 5.1ch | 128分
公式サイト: www.amagasa2018.com

1997年、中国に返還された香港は「特別行政区」となった。「香港特別行政区基本法」には将来、「普通選挙」で行政長官を選ぶ事ができるとされたが、2014年北京は、共産党が支持しない候補を選挙から排除する仕組みを導入する「8.31決定」を下し、民主主義的な普通選挙の道は閉ざされた。「8.31決定」の撤回、「真の普通選挙」の実施を求め、香港の金融街・中環を占拠する「オキュパイ・セントラル」が計画された。大学では授業ボイコットが行われ、黄之鋒ら若者による組織「学民思潮」は、政府本庁舎前で抗議活動を開いた。催涙弾で鎮圧しようする警察に、数万人におよぶ学生、市民たちが雨傘で抵抗した事により「雨傘運動」と呼ばれるようになった。しかし成果を得ないまま占拠を続ける運動に対して徐々に市民からの反発も強まり、79日間に及ぶ「雨傘運動」は終了した。金鐘に残ったバリケードには、「It's just the beginning / まだこれからだ」というメッセージが残されていた。その後、黄之鋒は「民主の女神」こと周庭と共に、香港の自決権を掲げる政党「香港衆志（デモシスト）」を創設。2018年、周庭が立法会議員補欠選挙出馬の届け出を行うも認められず、香港の「高度な自治」が脅かされているとの懸念が高まっている。



上映会のご予約・お問い合わせ 一般財団法人 大竹財団



東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階

JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分（八重洲地下街24番出口右階段すぐ）、
東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分



<https://ohdake-foundation.org> ☎ 03-3272-3900

Googleマップ QRコード



スマートフォン・タブレットのQRコード
アプリで読み取ると、現在地から会場
までのアクセス方法が検索できます。

